

第1回理事会・第1回評議員会 議決

平成26年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作者情報システム事業	2
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	2
(5) 生活便利用具（自助具）データベース事業	3
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	3
(1) 福祉用具プランナー養成事業	3
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	4
(3) リフトリーダー養成事業	5
(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー	5
(5) 認定補聴器技能者の養成	6
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	8
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	9
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	11
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	11
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	11
8. その他の事業	12
(1) 全国福祉用具相談・研修機関協議会の設立	12
(2) 啓発誌の発行	12
(3) 広報活動	13
(4) 福祉用具の規格化に関する事業	13
(5) 海外調査の企画支援	14
(6) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」 としての役割を果たすための連携・支援	14
(7) 「金沢福祉用具情報プラザ」の運営に係る助言・指導等	14
(8) 福祉用具プランナー研究ネットワーク(略称:プラネット)の事務支援	15
(9) 関係団体の行事等に対する後援、協賛	15
II. 理事会・評議員会の開催状況	18
III. 評議員・理事の異動	20
IV. 賛助会員の現況	21
V. 委員会等の開催状況	22

I. 事業実施結果の概要

1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

（1）福祉用具情報システム（T A I S）事業

福祉用具の効果的な利用を促進するための基盤整備として、全国に散在している福祉用具製造事業者等及び福祉用具情報を一元的にデータベース化し、インターネットを通じて広く情報発信を行っている。

《 平成27年3月末現在 情報総数 》

企業情報	663社
用具情報	8,999点

■福祉用具情報の分類別総数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	645	7.2
06	義肢・装具	18	0.2
09	パーソナルケア関連用具	1,347	15.0
12	移動機器	3,683	40.9
15	家事用具	26	0.3
18	家具・建具・建築設備	2,864	31.8
21	コミュニケーション関連用具	334	3.7
24	操作用具	16	0.2
27	環境改善機器・操作用具	38	0.4
30	レクリエーション用具	11	0.1
89	その他の用具	17	0.2
合 計		8,999	100.0

■介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸 与	6,042点
購 入	1,207点
計	7,249点

■登録件数の推移

事業年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
企業情報件数 (対前年度増減)	553 (31)	584 (31)	597 (13)	636 (39)	663 (27)
用具情報件数 (対前年度増減)	6,541 (648)	7,203 (662)	7,672 (469)	8,367 (695)	8,999 (632)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

当協会のホームページを活用して、障害のある方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報534件（平成26年12月3日現在）を収集し、それをメーカーや研究者等へ提供することにより、障害者や高齢者等から真に必要とされる、使い勝手の良い用具の研究開発を推進する事業を行った。

(3) 補装具製作者情報システム事業

平成18年10月の障害者自立支援法の全面施行に伴い、補装具の制度が、障害者と補装具製作者による契約の制度に変わったことから、厚生労働省障害保健福祉部からの要請により、義肢製作所の情報を、障害者や市町村担当者が、補装具製作者の選定を適切にできるようにするため、当協会のホームページから情報発信を行っている。

なお、補聴器販売店については、「認定補聴器技能者が在籍する補聴器販売店検索システム」へ移行した。

《 平成27年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	267製作所
-------	--------

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく、義肢装具等の完成用部品について、平成20年4月より利用者の身体状況や使用環境に適合した適切な完成用部品が選定されるよう、当該部品の対象者やその効果、また適応範囲や調整方法等についての詳細な情報を当協会のホームページから情報発信している。

《 平成27年3月末現在 情報総数 》

企業情報	32社
部品情報	1,701点
(内 訳)	
殻構造義肢	366点
骨格構造義肢	774点
装具	189点
座位保持装置	372点

(5) 生活便利用具（自助具）データベース事業

生活便利用具（自助具）についての詳細情報を、「既製品」、「個別対応品」の2つに区分して情報提供している。既製品については、価格や製造者情報、個別対応品については、工手法に関する情報も掲載している。

《 平成27年3月末現在 情報総数 》

既製品	71 製品
個別対応品	50 製品

2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

(1) 福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の効果的な使用と普及促進を図るため、福祉用具の選定、使用方法、取り扱い方等に関しての専門的知識及び技能を有する者(福祉用具プランナー)を育成することを目的として研修会を実施した。(修了者累計12,744名)

また、福祉用具プランナー研修の上級的位置付けとして、①福祉用具プランナーのさらなる質の向上、②福祉用具プランナー研修等の指導者(講師)養成、③福祉用具レンタル事業者等の管理職としての養成を目的とした「福祉用具プランナー管理指導者養成研修(従事者向け)」のうち2コースを実施した。

なお、来年度から開始する更新制度に備えて、「福祉用具プランナー情報システム」を構築した。

① テクノエイド協会主催

1) 第1回

- ・eラーニング研修期間 平成26年6月23日(月)～8月22日(金)
- ・集合研修期間 平成26年8月23日(土)～29日(金)
- ・開催地 東京
- ・修了者 31名

2) 第2回

- ・eラーニング研修期間 平成26年 9月16日(火)～11月15日(土)
- ・集合研修期間 平成26年11月14日(金)・15日(土)
平成26年11月28日(金)・29日(土)
平成26年12月12日(金)・13日(土)
- ・開催地 埼玉
- ・修了者 38名

3) 第3回

- ・eラーニング研修期間 平成26年12月8日(月)～平成27年2月6日(金)
- ・集合研修期間 平成27年2月7日(土)～13日(金)
- ・開催地 東京
- ・修了者 53名

② 他団体主催(テクノエイド協会共催等)

1) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、茨城、富山、愛媛、大分
- ・修了者 139名

2) その他 関係団体

- ・開催地 栃木、東京、新潟、愛知、滋賀、大阪、熊本
- ・修了者 307名

3) 教育機関主催

- ・開催地 新潟、兵庫
- ・修了者 53名

③ 福祉用具プランナー管理指導者養成研修(従事者向け)

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
起居移乗コース	H26.7.19(土)～25(金)	東京	22名
車いすシーティングコース	H27.1.10(土)～16(金)	東京	20名

(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

平成21年度から介護保険制度の貸与品目の対象となった可搬型階段昇降機においては、当該機器を取り扱う貸与事業者はメーカー等による操作講習を受講すること、および貸与の際には利用者の家族等に操作指導を行うことが義務付けられた。

それに伴い「可搬型階段昇降機安全推進連絡会」(国内メーカー等)と連携並びに事務局運営を担い、標準化された操作方法を適切かつ安全に指導できる福祉用具専門相談員を養成することを目的とした可搬型階段昇降機安全指導員講習制度を構築し、資格条件を満たしたものに対して可搬型階段昇降機安全指導員資格証を付与した。

また、この講習制度を構成する機種別講習と基礎講習のうち、基礎講習を実施した。(可搬型階段昇降機安全指導員資格証交付者数累計1,699名)

① 基礎講習修了者

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 北海道、東京、広島
- ・修了者 171名

2) 教育機関主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 4名

② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証

- ・交付者数 104名

(3) リフトリーダー養成事業

介護労働者環境向上奨励金（厚生労働省職業安定局）に対応し、施設等介護従事者の腰痛予防のため、リフト等福祉用具導入に際して、施設内で計画・相談・研修・指導の中核となる人材を養成する「リフトリーダー養成研修」の実施を支援した。（修了者累計 2,027名）

○リフトリーダー養成研修修了者

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 17名

2) 介護実習・普及センター主催（テクノエイド協会共催等）

- ・開催地 秋田、茨城、富山、岐阜、愛媛、北九州、大分、
- ・修了者 210名

3) 各都道府県介護福祉士会主催

- ・開催地 茨城、長野、京都、愛知、岡山、山口、高知、
福岡、沖縄
- ・修了者 182名

4) 他団体主催

- ・開催地 東京、愛知、大阪
- ・修了者 188名

5) 教育機関主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 7名

(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー

車椅子の相談に携わる福祉用具プランナーや福祉用具貸与事業者を対象として、シーティングの基礎知識・技術、車椅子の選定・調整等を習得させ、その資質の向上を図るためのセミナーを実施した。

会場	開催日	受講者数
東京会場	H26. 5. 16(金)～17(土)	53名
大阪会場	H26. 6. 20(金)～21(土)	54名

(5) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な補聴器に関する知識及び技能の習得を目的とした認定補聴器技能者の養成講習を行うとともに、養成講習修了者を対象とする認定補聴器技能者認定試験を実施した。

また、認定補聴器技能者が在籍する補聴器販売店の所在地等を地図上で検索できるよう当協会ホームページから情報提供した。

① 各講習会を次のとおり実施した。

1) 第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	H26.7.1(火) ～10.31(金)	429名	402名

2) 第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	H27.1.27(火) ～1.28(水)	東 京	179名	178名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	H27.2.9(月) ～2.10(火)	東 京	210名	210名
合 計			389名	388名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	H26.10.6(月) ～10.10(金)	東 京	137名	137名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	H26.11.17(月) ～11.21(金)	東 京	237名	238名
合 計			374名	375名

※「修了者数」には、再受験での終了者も含む。

4) 第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	H26.8.26(火) ～8.27(水)	東 京	196名	196名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	H26.9.1(月) ～9.2(火)	東 京	169名	169名
合 計			365名	365名

5) 第Ⅳ期養成課程の集合講習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数
福岡開催	H26.6.12(木)	福 岡	24名
仙台開催	H26.6.30(月)	仙 台	29名
大阪開催	H26.7.4(金)	大 阪	119名
東京開催	H26.7.9(水)	有 明	149名
合 計			321名

6) 認定補聴器技能者に対する講習

区 分	課 目	開 催 日	場 所	受講者数
名古屋開催	障害者福祉・リハ、法規、音声・言語、補聴器の機能・音響	H26.6.27(金)	名古屋	185名
札幌開催	接遇、臨床医学、フィッティング、障害者福祉・リハ	H26.7.16(水)	札 幌	54名
大阪開催	フィッティング、音声・言語、接遇、臨床医学	H26.7.25(金)	大 阪	266名
新潟開催	フィッティング、障害者福祉・リハ、臨床医学、補聴器の機能・音響	H26.8.3(日)	上 越	79名
福岡開催	フィッティング、障害者福祉・リハ、法規、補聴器の機能・音響	H26.9.12(金)	福 岡	208名
仙台開催	法規、接遇、音声・言語、補聴器の機能・音響	H26.9.18(木)	仙 台	83名
東京開催	法規、接遇、臨床医学、音声・言語	H26.10.23(木)	有 明	287名
合 計				1, 162名

② 認定補聴器技能者試験を次のとおり実施した。

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第22回認定補聴器 技能者試験	H26.11.7(金)	東 京	383	382	302	79.1

認定補聴器技能者試験合格者累計:3, 401名(平成5年第1回～平成26年度第22回)

3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等の評価し、認証された用具を情報提供する事業を行った。

平成26年度については、新規に制定された JIS T9269 ベッド用テーブルの評価基準を作成した。また、介護保険において保険給付の対象となる福祉用具のうちトランスファーボード及びスライディングシートを対象に、評価実施機関における評価チームと基準部会 WG によるモデル検証を実施し、評価項目の妥当性、確認方法、判定の目安などを検討した。

新規の認証については、JIS 認証に限っていた工学的評価を SG 認証でも可とし、TAIS での検索を QAP 認証製品から上位にする、また、メーカー各社に依頼するなどの対策をしたが、臨床的評価の費用が申請者負担になった影響は大きく、歩行車の1件となった。

また、福祉用具の安全かつ適切な利用を推進するため、介護保険における福祉用具の事故情報の実態を把握するための市区町村へヒアリング調査を行うとともに、福祉用具使用のリスク回避並びに福祉用具の安全性への認識を高めることを目的とした研修会を開催した。

さらに、福祉用具の利用者による誤使用や不注意さらには利用者と用具や使用環境の不適合から生じた事故やヒヤリハット情報を収集し、要因の分析を行い、その結果を事例集として作成し、当協会ホームページ（福祉用具ヒヤリ・ハット情報）から情報提供するとともに全国の都道府縣市町村の福祉用具担当課や介護実習・普及センター等に配布し、有効に活用してもらうこととした。

○福祉用具安全推進委員研修会の開催

「福祉用具を安全で安心して利用するための基礎セミナー」

- ・開催日 平成26年11月1日（土）
- ・開催場所 東京都
- ・受講者数 54名
- ・内 容 講義1 「福祉用具の安全と福祉用具利用の安心」
講義2 「福祉用具を安全に利用するために」
講義3 「臨床的評価の評価項目と特記事項からみる安全への視点」
講義4 「福祉用具のリスクマネジメント演習」

4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等を受け、次の事業を行った。

① 福祉機器開発普及等事業

完成用部品の指定申請手続きの簡素化、確認・審査業務の効率化、さらには迅速な情報提供を可能にするとともに、完成用部品の変更及び更新、削除等の管理業務に関わる一連業務を体系的に管理するワークフローシステムのあり方について検討を行い、その結果を報告書に取り纏めた。

また、福祉用具ニーズ情報収集・提供システムを活用するとともに、障害者に対するヒアリング調査を行うことにより、障害者や家族等から福祉用具の開発・改良に係わるニーズを収集し、開発メーカー等に対する情報提供を継続的に行った。さらに、これまで収集したニーズを整理・分類、体系化し、関係行政等へ報告するとともに、障害者自立支援機器等開発促進事業における開発テーマの参考に役立てることとした。

② 補装具費支給制度における貸与方式導入に向けた体制構築の在り方等に関する研究

補装具費支給制度における貸与方式導入に向けて諸課題を整理するとともに、実行性の高い運用モデルの検討を行うため、市町村、更生相談所及び補装具製作所等へヒアリング調査を実施し、補装具費支給モデル事業実施要綱（案）及び関連様式（案）を取り纏めた。

また、モデル事業の実施にあたっては、その目的が達成されたかを検証する必要があるため、効果測定項目についても整理した。

③ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

高齢者介護の現場において、真に必要とされる福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器等」）の開発に資するため、前年度に引き続き、相談窓口を設けるとともに、開発早期段階の介護機器等を専門職が助言する「アドバイス支援事業」と、実際の介護現場において使用を行う「モニター調査事業」を実施した。

一方、国民の誰もが介護ロボットについて、必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、全国8カ所で介護機器等の展示・体験などを行う普及モデル事業を実施し、今年度は介護機器等の人材養成が喫緊の課題となっている現状を踏まえ、移乗支援技術を取り纏めたテキストを作成し、都道府県において将来講師となる者の講師養成研修を行った。

④ ロボット介護機器導入実証事業（ロボット介護推進プロジェクト）

ロボット介護機器の量産化への道筋をつけることを目的として、ロボット介護機器を実際に介護現場で活用しながら、大規模な効果検証等を行うとともに、検証結果に基づく効果のPR、普及啓発、教育活動を通じ、ロボット介護機器導入の土壌を醸成することを目的として大規模な導入実証を実施した。

具体的には、ロボット介護を推進する企業・仲介者・介護施設等がチームを編成し、介護現場で活用するための製品製造・設置に係る費用、さらに導入講習・導入効果測定に係る費用の補助を行い、ロボット介護機器の普及を図った。

ロボット介護推進プロジェクト事業実績

補助対象機器	仲介者	導入施設	導入台数
27	105	410	2,987

⑤ シーズ・ニーズマッチング強化事業（障害者自立支援機器等開発促進事業）

障害当事者のニーズをよりの確に捉えた支援機器開発の機会を創出すべく、シーズ・ニーズマッチング交流会を開催した。交流会では、開発を支援する国等の機関も交えて機器開発に向けた活発な交流の場を設けた。

また、交流会後のフォローアップとして、シーズ・ニーズマッチング強化検討会議を立ち上げ、障害者現場のニーズを踏まえた、適切かつ良質な支援機器の製品開発を促進するための検討を行った。

- ・開催日 平成27年3月6日（金）～7日（土）
- ・場所 TOC有明コンベンションホール4階
- ・出展参加団体 11団体
- ・出展参加企業 62企業
- ・出展参加機関 6機関
- ・一般来場者 442名

(2) 消費生活協同組合の助成金を受け、次の事業を行った。

○消費生活協同組合助成金事業

高齢者介護に関わる従事者が、難聴を主とした聞こえの問題、補聴器の機能や特性、介護施設の利用者に対する補聴器の取扱い方などを正しく理解するための冊子を作成し、関係団体等へ配布することにより、聞こえに不自由を感じる方々の意志や意欲を重視した介護を行うための聞こえの基礎知識と補聴器装用に関する情報を提供した。

5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による第28回義肢装具士国家試験を次のとおり実施した。

- ・願書受付 平成27年1月9日（金）～1月23日（金）
- ・試験日 平成27年2月27日（金）
- ・試験地 東京
- ・合格発表 平成27年3月27日（金）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
264人	238人	90.2%

第1回～28回までの累積合格者数は4,708名

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

平成19年4月から全国補聴器専門店認定協会が行っていた「認定補聴器専門店」の認定業務をテクノイド協会に移管し、補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の要件を充足している補聴器販売店を「認定補聴器専門店」と認定する業務を実施している。（平成26年度新規認定申請43店、更新認定申請207店）

また、その補聴器販売店に関する情報を当協会ホームページから情報提供した。

移管時の認定店舗数	469店舗	平成19年4月1日現在
現在の認定店舗数	654店舗	平成27年3月31日現在

7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、「新しい福祉機器と介護サービス革命」の編集を行うとともに福祉用具支援論、自助具ハンドブック等の販売を行った。

書籍名	販売部数
福祉用具支援論	100
自助具ハンドブック	73
計	173

8. その他の事業

(1) 全国福祉用具相談・研修機関協議会の設立

「全国介護実習・普及センター等関係機関連絡会議」を発展的に解消し、新たに福祉用具の相談・研修機関・団体を対象に組織化を行った。

① 設立総会の開催

設立総会を行い、規約の承認並びに4名の役員を選出した。(会員数42団体・機関)

② 全国会議開催

協議会会員、介護実習・普及センター、福祉用具展示場、リハビリテーションセンター、相談・研修等の福祉用具関係機関・団体を集めて、下記の内容で協議を行った。

- ・開催期間 平成26年10月30日(木)～10月31日(金)
- ・開催地 弘済会館(四谷)
- ・参加者 110名
- ・内容 基調講演・行政説明(厚労省・経産省)
第1テーマ「病院・施設における福祉用具の利用促進」
第2テーマ「福祉用具のコストパフォーマンス」
第3テーマ「福祉用具貸与事業者がサービス事業者として目指すこと」
第4テーマ「介護保険制度の中で広域拠点としてすべきこと」
まとめ・総括・次期開催県の挨拶

③ 全国福祉用具相談・研修機関協議会発起人会並びに役員会の開催

協議会の規約(案)作成、全国会議の企画立案をするため、事前検討を行った。

- ・発起人会 平成26年7月10日(木) 9:00～17:00
- ・役員会 平成27年2月4日(水) 15:00～17:00

(2) 啓発誌の発行

次の啓発誌を作成し、都道府県、関係機関等に配布した。

「アシスティブ・プロダクツ」(年2回)

Vol	主な内容
Vol11(秋号)	特集テーマ「介護施設における補聴器の活用」 ・巻頭言「見落としがちな“聞こえ”の問題。補聴器活用によりQOLの改善を」 ・社会福祉施設における補聴器導入の促進について ・先進的な認定補聴器専門店のご紹介 ・福祉用具・介護ロボット情報

Vol12(春号)	<p>特集テーマ「福祉用具関係団体の組織化と連携強化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「全国をまとめる機関ができた意義は大きい。情報交換や切磋琢磨できる環境が生まれた」 ・全国福祉用具研修・相談機関協議会 ・福祉用具プランナー研究ネットワーク ・全国福祉用具専門相談員協会 ・福祉用具プランナーの登録・更新制度及び福祉用具プランナー情報システムのご案内 ・福祉用具・介護ロボット情報
-----------	---

(3) 広報活動

- ① 福祉用具の普及促進のためのパネル、パンフレット等を作成し、掲示又は配布した。
- ② 機器展等への出展
 - 第41回 国際福祉機器展 (期間 H26. 10. 1～10. 3) 東京ビッグサイト

(4) 福祉用具の規格化に関する事業

① ISO (国際標準化機構) に関する国内審議団体としての事業

ISO/TC173 (リハビリテーション機器システムに係る専門委員会) /SC2 (用語と分類に係る分科委員会) 国内委員会の事務局として業務を行い、DIS(国際規格原案)作成に向けた国内検討委員会の開催及び委員等をSC2/WG12 (用具と分類に係る作業グループ) 国際会議 (サンパウロ) に派遣し国際規格改定に向けた積極的な審議、提案を行った。

ISO/TC173/SC2/WG12国際会議

期 間：平成26年4月10日～12日

場 所：ブラジル国サンパウロ

参加国：オーストラリア、フランス、ドイツ、オランダ、日本、デンマーク、韓国、ブラジル

ISO/TC173/SC2オンラインミーティング

開催日：平成26年10月21日

参加国：オーストラリア、中国、フランス、ドイツ、日本、オランダ、韓国、イスラエル、オランダ

ISO/TC173/SC2オンラインミーティング

期 間：平成27年2月25日

参加国：オーストラリア、フランス、日本、中国、オランダ、デンマーク、ドイツ

② I S O（国際標準化機構）に関する国際幹事としての事業

日本工業調査会より国際幹事引受けの承認を受け、ISO/TC173（リハビリテーション機器システムに係る専門委員会）/SC2（用語と分類に係る分科委員会）の国際幹事としての業務を行った。

（S C 2 国際幹事には国立障害者リハビリテーションセンター研究所 中山 剛室長が就任またWG 1 2 コンビナーには国立障害者リハビリテーションセンター研究所 井上 剛伸部長が就任）

（5）海外調査の企画支援

テクノエイド協会のツアー企画により、ヨーロッパ先進国における福祉用具開発・普及の状況、地域ケアシステム等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・訪問国 ドイツ、オランダ
- ・期 間 平成26年9月22日（月）～9月29日（月）（8日間）
- ・参加者 50名（視察コース：33名、展示会コース：17名）

（6）福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

○「福祉用具」関係者新年交流会の開催

高齢者・障害者の身近な生活の道具である自助具から最新の介護ロボット等にいたるまで、福祉用具関係者の意見交換、情報共有及びネットワーク形成の場として新年交流会を開催した。

- ・日 時：平成27年1月19日（月）13：30～19：00
- ・会 場：アルカディア市ヶ谷（富士の間、大雪の間）
- ・参加者：138名（行政、専門職、メーカー、供給事業者等）
- ・内 容：第1部 関連団体報告会、第2部 懇親会

（7）「金沢福祉用具情報プラザ」の運営に係る助言・指導等

○展示福祉用具選定部会

- ・日 時：平成26年11月12日（水）14：00～16：00
- ・場 所：金沢福祉用具情報プラザ

(8) 福祉用具プランナー研究ネットワーク（略称：プラネット）の事務支援

福祉用具プランナー管理指導者を中心に福祉用具プランナーの会が設立（10月4日）したが、その際の設立支援とその後の事務支援を行った。（会員数 263 名）

(9) 関係団体の行事等に対する後援、協賛（申請順）

- 1 「第11回 国際バイオフィリア リハビリテーション大会」後援
（主催：高齢市民が活躍するための社会技術研究会）
- 2 「第41回 国際福祉機器展 H. C. R2014」協賛 H26年10月1日～3日
（主催：全国社会福祉協議会・保健福祉広報協会）
- 3 「福祉機器コンテスト2014」後援 H26年5月～11月
（主催：日本リハビリテーション工学協会）
- 4 「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2014」後援 平成26年7月11日～12日
（主催：横浜市リハビリテーション事業団）
- 5 「第6回 ロボット大賞」協力 平成26年10月15日～17日
（主催：経済産業省製造産業局・日本機械工業連合会）
- 6 「第40回日本リハビリ工学協会車いすSIG講習会」協賛 平成26年8月22日～23日
（主催：日本リハビリテーション工学協会）
- 7 「サイトワールド 2014」後援 平成26年11月1日～3日
（主催：日本盲人福祉委員会・サイトワールド実行委員会）
- 8 「第9回 千葉県福祉機器展2014」後援 平成26年10月17日～18日
（主催：千葉県福祉ふれあいプラザ）
- 9 「P.P.C.2014 第16回西日本国際福祉機器展」協賛 平成26年11月7日～9日
（主催：西日本国際福祉機器展実行員会）
- 10 「第6回「介護の日」フェスティバル in とちぎ」後援 平成26年11月8日
（主催：栃木県老人福祉施設協議会）
- 11 「第29回 リハ工学カンファレンス in ひろしま」後援 平成26年8月24日～27日
（主催：日本リハビリテーション工学協会）
- 12 「HOSPEX Japan 2014 第43回 日本医療福祉設備学会 併設展示会」協賛 平成26年11月12日～14日（主催：日本医療福祉設備協会・日本能率協会）
- 13 「第31回 医療・福祉フォーラム(元 日赤振興会講習)」後援 平成26年11月11日
（主催：医療・福祉フォーラム(元日赤振興会講習会)）
- 14 「第13回 車椅子・シーティング基礎講習会」後援 平成26年8月29日～9月1日
（主催：日本車椅子シーティング協会）

- 15 「第5回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」後援 平成26年10月31日～11月4日 (主催:日本車椅子シーティング協会)
- 16 「平成26年度福祉用具適合講習会 南多摩福祉機器展」後援 平成26年11月15日～16日 (主催:東京都南多摩保険医療圏地域リハビリテーション支援センター)
- 17 「第18回国際福祉健康産業展～ウェルフェア 2015～」協賛 平成27年5月21日～23日 (主催:名古屋国際見本市委員会)
- 18 「第7回補装具製作セミナー」後援 平成26年11月8日 (主催:日本義肢協会)
- 19 「行政担当者とともに考えるユニット型施設整備についての研究会」後援 平成26年9月1日 (主催:日本ユニットケア推進センター)
- 20 「福祉用具展示研修会 2014 山形福祉機器展 in 山形」後援 平成26年11月9日 (主催:日本福祉用具供給協会)
- 21 「バリアフリー2015」後援 平成27年4月16日～18日 (主催:大阪府社会福祉協議会)
- 22 「支援機器の実証試験のための倫理審査申請方法講習会」後援 平成26年10月15日 (主催:日本生活支援工学会)
- 23 「福祉用具・介護ロボットフェア」後援 平成26年11月11日 (主催:岐阜県福祉総合相談センター)
- 24 「第41回日本リハビリ工学協会車いすSIG講習会」協賛 平成27年1月24日～25日 (主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 25 「JAPAN 補聴器フォーラム 2015」後援 平成27年6月5日～6日 (主催:日本補聴器販売店協会)
- 26 「49回 日本作業療法学会」後援 平成27年6月19日～21日 (主催:日本作業療法士協会)
- 27 「視覚障害者総合福祉機器展」後援 平成27年4月26日 (主催:日本網膜色素変性協会 神奈川支部)
- 28 「世界網膜の日 in 群馬」後援 平成27年9月26日 (主催:日本網膜色素変性協会)
- 29 「ユニットケア研修フォーラム 2015」後援 平成27年3月12日 (主催:日本ユニットケア推進センター)
- 30 「国際モダンホスピタルショウ 2015」協賛 平成27年7月15日～17日 (主催:日本病院会・日本経営協会)
- 31 「第5回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会愛知大会」後援 平成27年5月16日～17日 (主催:脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会)

- 32 「高齢社会を支えるコミュニケーションロボットシンポジウム」後援 平成27年3月1日
(主催:国立障害者リハビリテーションセンター)
- 33 「第1回 介護用品・介護施設産業展 careTEX2015」後援 平成27年3月18日～20日
(主催:ブティックス)
- 34 「情報アクセシビリティ・フォーラム 2015」後援 平成27年12月12日
(主催:全日本ろうあ連盟)
- 35 「支援機器利活用拡大シンポジウム 情報基盤構築で進めるイノベーション創出」後援
平成27年3月7日(主催:国立障害者リハビリテーションセンター)
- 36 「平成27年度 福祉用具選定士認定研修会」後援
(主催:日本福祉用具供給協会)
- 37 「第32回 医療・福祉フォーラム」後援 平成27年6月12日
(主催:医療・福祉フォーラム)
- 38 「いきいき福祉・健康フェア2015」後援 平成27年10月16日～18日
(主催:いきいき福祉・健康フェア2015実行委員会)
- 39 「R&R 建築再生展 2015」後援 平成27年6月18日～20日
(主催:R&R建築再生展2015組織委員会)

Ⅱ. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回 次	主 な 議 題 等	出 席 等
平成26年6月4日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①平成25年度事業報告及び決算 ②平成26年度補正予算 ③第1回評議員会開催について ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について ③ロボット介護推進プロジェクトについて 	決議に必要な出席理事の数8名(出席14名、欠席なし)、監事出席2名
平成26年6月24日	第1回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①平成25年度事業報告及び決算 ②平成26年度補正予算 ③理事の選任 ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について ③ロボット介護推進プロジェクトについて 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席3名)、理事出席2名
平成26年8月7日	第2回評議員会 (書 面)	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①理事の選任 	議題について、評議員15名全員の書面による同意の意思表示を得た
平成26年9月1日	第2回理事会 (書 面)	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①平成26年度第二次補正予算 	議題について、理事14名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成27年2月13日	第3回理事会 (書 面)	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①平成26年度第三次補正予算 ②第3回評議員会開催について 	議題について、理事14名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た

平成27年2月25日	第4回理事会	<p>・決議事項</p> <p>①任期満了に伴う役員選任方針</p> <p>②基本財産運用状況及び運用方針</p> <p>③役員等の報酬等に関する規程改正</p> <p>④平成27年度事業計画及び予算</p> <p>・報告事項</p> <p>①任期満了に伴う評議員選任方針について</p> <p>②職務の執行状況について</p> <p>③シーズ・ニーズマッチング強化事業について</p>	決議に必要な出席理事の数8名(出席13名、欠席1名)、監事出席2名
平成27年2月26日	第3回評議員会	<p>・決議事項</p> <p>①任期満了に伴う評議員選任方針</p> <p>②任期満了に伴う役員選任方針</p> <p>③基本財産運用状況及び運用方針</p> <p>④役員等の報酬等に関する規程改正</p> <p>⑤平成27年度事業計画及び予算</p> <p>・報告事項</p> <p>①平成26年度第三次補正予算の編成について</p> <p>②職務の執行状況について</p> <p>③シーズ・ニーズマッチング強化事業について</p>	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席2名)、理事出席2名

Ⅲ. 評議員・理事の異動

1. 平成26年6月24日 第1回評議員会

理事の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
あ こう ひで かず 赤 生 秀 一	辞任	(一社)日本補聴器工業会 前理事長
いの うえ きよ つね 井 上 清 恆	新任	(一社)日本補聴器工業会 理事長

2. 平成26年8月7日 第2回評議員会

理事の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
は なし ゆき とし 葉 梨 之 紀	辞任	日本医師会 前常任理事
すず き くに ひこ 鈴 木 邦 彦	新任	日本医師会 常任理事

3. 平成27年2月4日

評議員の辞任

氏名	摘要	所属等
き むら てつ ひこ 木 村 哲 彦	辞任	日本リハビリテーション専門学校長(平成26年11月11日逝去)

IV. 賛助会員の現況

1. 会員の構成（平成27年3月末現在）

法人会員：65団体（85口） 個人会員：3名（3口）

【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	41	63.1%
福祉用具供給事業者	4	6.2%
関係団体	9	13.8%
その他の企業	11	16.9%
計	65	100%

2. 入会及び退会

○入会（法人4団体、個人3名）

○退会（なし）

V. 委員会等の開催状況

開催日	行 事 等
4月8日	ISO/TC173/SC2/WG12国際会議（ブラジル）～15日迄
4月15日	「福祉用具の日」推進協議会
4月18日	ロボット介護推進プロジェクト 公募説明会（大阪会場）
4月22日	ロボット介護推進プロジェクト 公募説明会（東京会場）
4月22日	認定補聴器専門店 新規申請・更新申請手続き事前説明会
4月24日	ロボット介護推進プロジェクト 公募説明会（名古屋会場）
4月25日	ロボット介護推進プロジェクト 公募説明会（福岡会場）
5月14日	会計士監査
5月14日	認定補聴器専門店 新規申請・更新申請手続き事前説明会
5月16日	高齢者のための車椅子フィッティングセミナー（江戸川区）～17日迄
5月21日	監事監査
5月21日	ロボット介護推進プロジェクト 第1回対象機器審査委員会
6月4日	第1回理事会
6月9日	「ロボット介護機器」展示説明会（東京会場）
6月11日	「ロボット介護機器」展示説明会（神戸会場）
6月12日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習（福岡）
6月13日	「ロボット介護機器」展示説明会（福岡会場）
6月17日	「ロボット介護機器」展示説明会（札幌会場）
6月20日	高齢者のための車椅子フィッティングセミナー（大阪市）～21日迄
6月20日	ロボット介護推進プロジェクト 第2回対象機器審査委員会
6月24日	第1回評議員会
6月26日	第1回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月27日	認定補聴器技能者に対する講習会（名古屋）
6月30日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習（仙台）
7月4日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習（大阪）
7月9日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習（TOC有明）
7月16日	認定補聴器技能者に対する講習会（札幌）
7月17日	第5回きこえのQOL促進プロジェクト
7月19日	福祉用具プランナー管理指導者研修～25日迄
7月22日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第1回モニター調査検討委員会
7月25日	認定補聴器技能者に対する講習会（大阪）
7月28日	認定補聴器専門店実地調査員打合せ会

7月28日	第1回移乗支援技術テキスト作成部会
7月30日	義肢装具士国家試験 出題依頼会議
7月31日	介護職向け啓発冊子作成委員会
8月3日	認定補聴器技能者に対する講習会（新潟）
8月6日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第2回モニター調査検討委員会
8月7日	介護ロボット普及モデル事業 8実施機関事務打合せ会
8月19日	「アシスティブ・プロダクツ」編集会議
8月20日	認定補聴器技能者試験実技に対する筆記試験打合せ会
8月26日	認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程集合講習（TOC有明） ～27日迄
8月28日	「福祉用具の日」推進協議会
9月1日	認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程集合講習（TOC有明） ～2日迄
9月3日	認定補聴器技能者試験実技に対する筆記試験打合せ会
9月12日	認定補聴器技能者に対する講習会（福岡）
9月12日	第1回補装具費支給制度における貸与方式導入における研究検討委員会
9月18日	認定補聴器技能者に対する講習会（仙台）
9月19日	補聴器技能者試験部会 問題選定会議
9月22日	REHACARE 2014（ドイツ、オランダ） ～29日迄
9月23日	福祉用具臨床的評価事業基準部会WG
9月26日	義肢装具士国家試験 問題選定会議
10月3日	補聴器技能者試験部会 問題決定会議
10月6日	認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程集合講習（TOC有明） ～10日迄
10月14日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月14日	ロボット介護推進プロジェクト 仲介者向け説明会（TKP市ヶ谷）
10月15日	ロボット介護推進プロジェクト 仲介者向け説明会（TKP名古屋駅前）
10月16日	ロボット介護推進プロジェクト 仲介者向け説明会（TKP大阪梅田駅前）
10月17日	ロボット介護推進プロジェクト 仲介者向け説明会（TKP博多駅前）
10月20日	福祉用具臨床的評価事業 事例分析検討会
10月22日	福祉用具臨床的評価事業 認証委員会
10月23日	認定補聴器技能者に対する講習会（TOC有明）
10月24日	介護職向け啓発冊子作成委員会
10月30日	福祉用具相談・研修機関協議会全国会議（弘済会館） ～31日迄
10月30日	第2回補装具費支給制度における貸与方式導入における研究検討委員会
11月1日	福祉用具を安全で安心に利用するための基礎セミナー
11月5日	福祉用具臨床的評価事業 第2回基準部会WG
11月6日	第2回移乗支援技術テキスト作成部会

11月7日	第22回認定補聴器技能者試験（TOC有明）
11月11日	福祉用具臨床的評価事業 評価機関事務打合せ
11月12日	認定補聴器技能者試験 記述式試験問題採点会議
11月13日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月14日	介護職向け啓発冊子作成委員会
11月14日	認定補聴器技能者試験 記述式試験問題採点会議
11月17日	認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程集合講習（TOC有明）～21日迄
11月17日	ISO/TC173/SC2国内委員会
11月18日	完成用部品ワークフローシステムの在り方に関する研究 第1回検討委員会
11月26日	第3回モニター調査検討委員会
11月28日	第2回福祉用具プランナー研修（朝霞市）～29日迄
12月8日	福祉用具臨床的評価事業 基準部会
12月9日	第6回きこえのQOL促進プロジェクト
12月10日	認定補聴器試験部会・合否判定会議
12月11日	義肢装具士国家試験 試験免許室問題確認
12月12日	義肢装具士国家試験 問題校正会議
12月12日	第2回福祉用具プランナー研修（朝霞市）～13日迄
12月12日	福祉用具・介護ロボット（移乗支援分野）講師養成研修会（TOC有明）
12月17日	ロボット介護機器導入効果報告会（TOC有明）
12月18日	ロボット介護機器導入効果報告会（大阪会場）
12月18日	福祉用具臨床的評価事業 基準部会
12月22日	補聴器協議会
12月22日	第3回支援技術テキスト「移乗技術編」作成検討部会
12月24日	第2回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
1月8日	福祉用具臨床的評価事業 第2回事例分析検討会
1月10日	福祉用具プランナー管理指導者研修～16日迄
1月15日	補聴器技能者養成部会
1月19日	「福祉用具」関係者新年交流会（市ヶ谷）
1月22日	第3回補装具費支給制度における貸与方式導入における研究検討委員会
1月23日	義肢装具士国家試験 問題最終確認会議
1月27日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅰ期スクーリング日程①（TOC有明）～28日迄
1月28日	福祉用具臨床的評価事業モデル評価（福祉用具総合評価センター）
1月29日	福祉用具臨床的評価事業 事例検討WG（朝霞市）
2月6日	第1回シーズ・ニーズマッチング強化検討会議（主婦会館）
2月7日	福祉用具プランナー研修（東京都福祉保健財団）～13日迄

2月9日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅰ期スクーリング日程②（TOC有明）～10日迄
2月16日	福祉用具臨床的評価事業モデル評価（横浜リハ）
2月19日	福祉用具臨床的評価事業モデル評価（東京都福祉保健財団）
2月19日	福祉用具臨床的評価事業モデル評価（JASPEC）
2月23日	認定補聴器専門店審査部会
2月25日	第4回理事会
2月26日	第3回評議員会
2月27日	第28回義肢装具士国家試験（TOC有明）
2月27日	福祉用具臨床的評価事業モデル評価（川崎）
3月6日	自立支援機器シーズ・ニーズマッチング交流会（TOC有明）～7日迄
3月6日	補聴器協議会
3月10日	義肢装具士国家試験 問題審査・合否案決定会議
3月13日	福祉用具臨床的評価事業 第3回事例分析検討会
3月16日	第2回完成用部品ワークフローシステムの在り方に関する検討会
3月16日	第2回シーズ・ニーズマッチング強化検討会議（主婦会館）
3月17日	福祉用具臨床的評価事業 第2回基準部会
3月17日	福祉用具臨床的評価事業 第3回基準部会WG
3月20日	第3回補装具費支給制度における貸与方式導入における研究検討委員会
3月24日	福祉用具臨床的評価事業 第2回認証委員会
3月27日	義肢装具士国家試験 合格発表

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。

平成27年6月

公益財団法人テクノエイド協会